

若者が雇用に
躓かないために
《第13弾》



2018年12月1日
シンポジウム

グローバル化する大学生の就職活動

—日本の大学で学位を取得した外国人留学生の
日本企業への就職の壁を考える—

日本国内の人手不足が深刻化する一方で若者の早期離職が社会問題化しています。その原因として職場の様々なハラスメントや日本的雇用慣行と若者自身のキャリア展開への思いとのミスマッチが指摘されています。

そのような状況下に、日本の大学で学位を取得した外国人留学生の採用が日本国内で進んでいます。採用する日本企業としては、外国人留学生にどのような魅力を感じているのでしょうか。こうした外国人留学生の採用は、外国人実習制度とは異なりますので、単に人手不足を理由にしているとは思えません。

2018年12月1日(土)

午後1時30分～午後5時

(開場・午後1時)

会場 同志社大学 今出川学舎
良心館 RY302号

参加費 無料

プログラム


- 1 主催者の挨拶
安井由美子(公益社団法人・京都勤労者学園)
- 2 外国人留学生の
就職活動の現状をめぐる情報共有
上田修三(キャリアコンサルタント)
- 3 シンポジウムの登壇者
 - ①外国人留学生
 - ②外国人社員
 - ③地場企業関係者
*株式会社島津製作所
人事部人材開発室 柴田啓介
 - ④会場からの発言
*株式会社寺内製作所代表取締役社長
山本賀則など
 - ⑤コーディネイター
川口章(同志社大学政策学部教授)

一方日本企業で働いてみようとする外国人留学生は、日本企業にどのような期待を込めているのでしょうか。現実の外国人留学生の就職活動では、日本人の新規学卒者と同じスタートラインに立ててはいないようです。

そこで今回は、①外国人留学生の就職活動に関する調査結果を参考にしながら、②日本の大学の学位を取得後既に日本企業で働いている外国人労働者の思い、③学位取得後に就職活動を開始しようとしている外国人留学生の思い、④彼らを採用している日本企業の思いをそれぞれに語って頂くことにします。⑤また今後そうした外国人労働者が日本社会の中で共に働き、暮らすことのできる雇用や人権、そして社会保障制度などの諸課題について考えることにします。

主催 公益社団法人・京都勤労者学園／認定特定非営利活動法人・あつたかサポート

後援 京都府、京都市、留学生スタディ京都ネットワーク
京都商工会議所、京都経営者協会、京都経済同友会

 FAX 075-352-2646

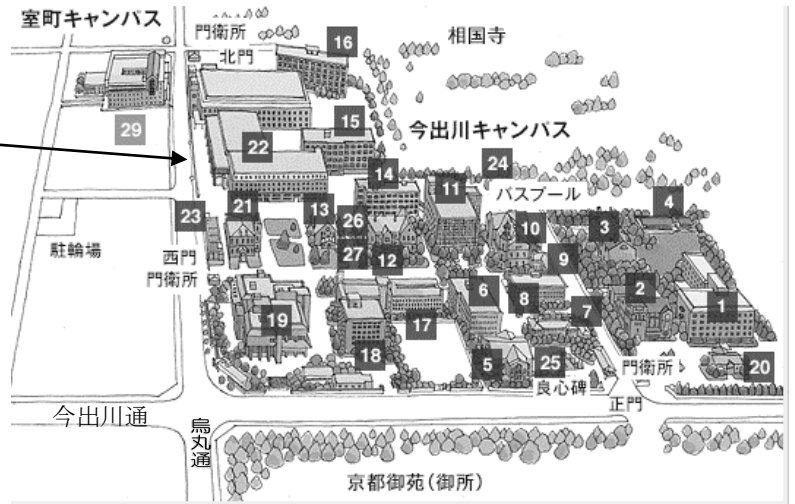
NPO 法人あったかサポート E-mail : attaka-support@r6.dion.ne.jp

《シンポジウム》 グローバル化する大学生の就職活動 2018年12月1日(土) 午後1時30分～午後5時(開場・午後1時)

会場 同志社大学 今出川学舎
良心館 RY302号

(図の 22 が良心館)

地下鉄「今出川」駅下車 1 番出口すぐ



参加申込書

下記の通り参加を申し込みます

年 月 日

フリガナ		<input type="checkbox"/> シンポジウム
お名前		<input type="checkbox"/> 懇親会 参加にチェックを!
フリガナ		<input type="checkbox"/> シンポジウム
お名前		<input type="checkbox"/> 懇親会 参加にチェックを!
ご住所	〒	
電話		
FAX		
e-mail		

※提供いただいた個人情報は講座などのご案内や緊急連絡のみに利用させていただきます。